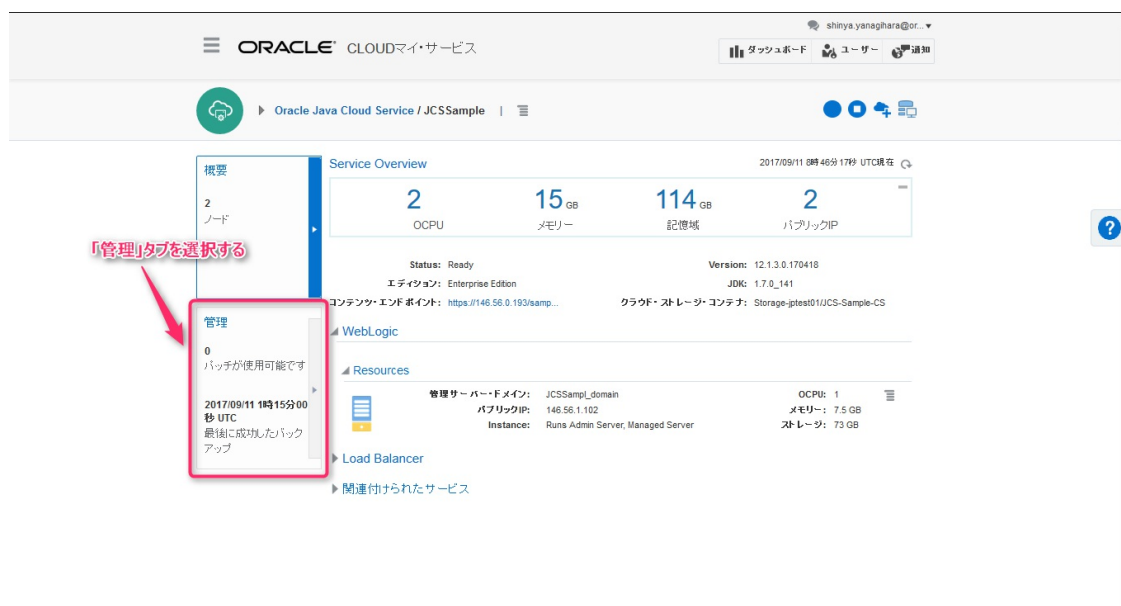


# Java Cloud Service のバックアップの作成とリストア

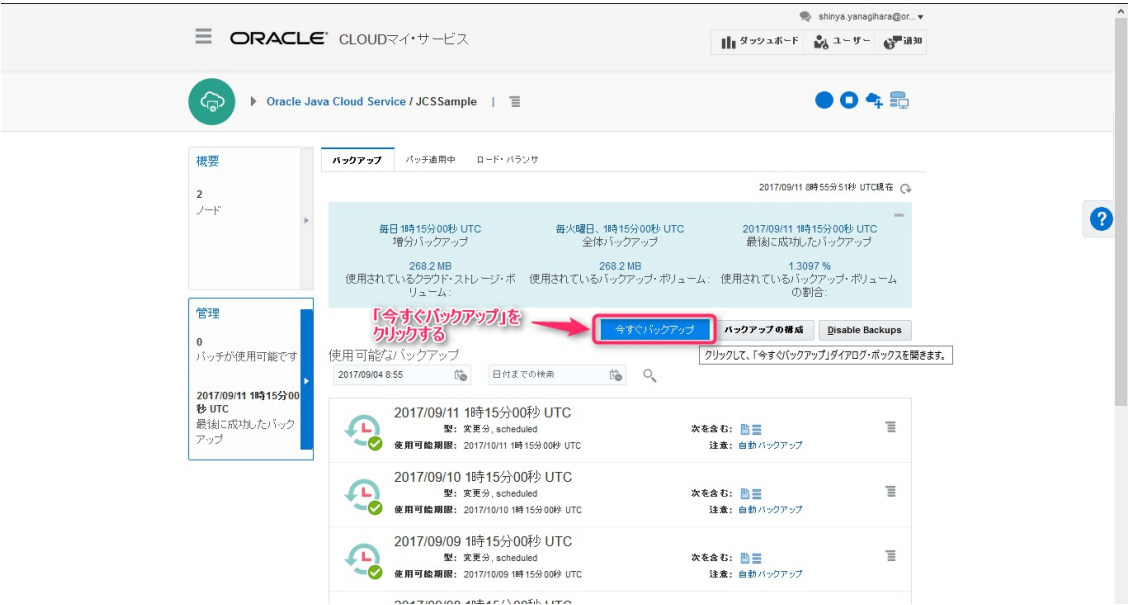
## 1. Java Cloud Service インスタンス概要画面の表示



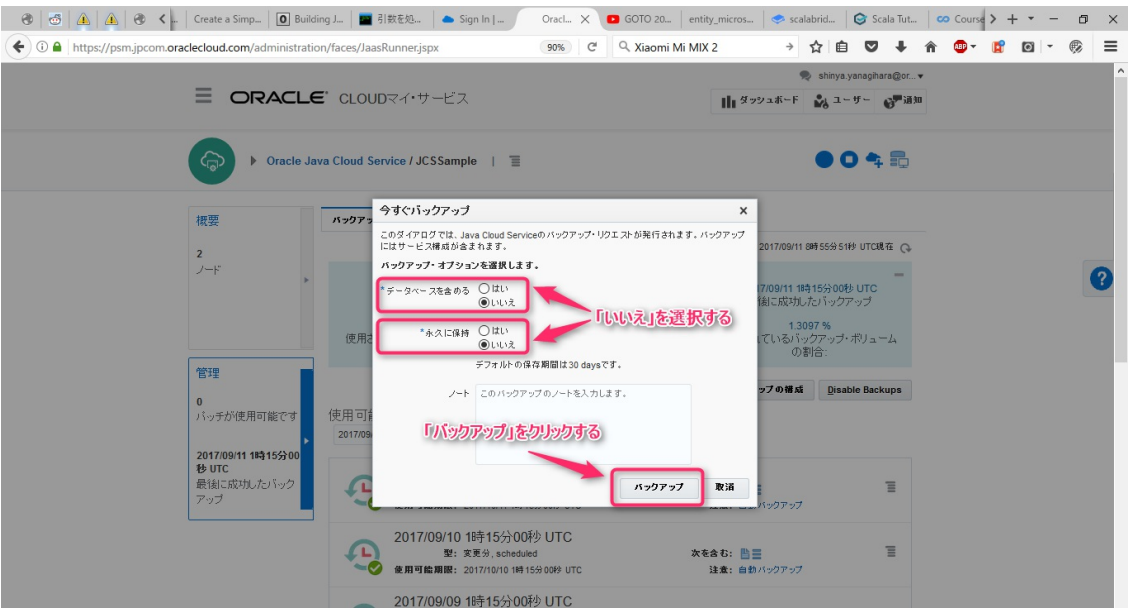
Java Cloud Service サービス・コンソール画面からインスタンス概要画面を開きます。

標準では「概要」タブが選択されているので、その下の「管理」タブを選択します。

## 2. 手動バックアップの実施



画面中央に表示されている「今すぐバックアップ」をクリックし、バックアップ情報入力のダイアログボックスを開きます。



以下の選択肢を選択します。

項目名	選択肢
データベースを含める	いいえ
永久に保持	いいえ

「永久に保持」を「いいえ」にすると、保存期間(デフォルト:30日)が過ぎると、バックアップを削除します。

ORACLE CLOUDマイ・サービス shinya.yanagihara@or... ダッシュボード ユーザー 通知

Oracle Java Cloud Service / JCSSample

バックアップ・リクエストが実行されました。

概要 2 ノード

管理 0 バッチが使用可能です

バックアップ中

バックアップ バッチ適用中 ロード・バランサ







2017/09/11 9時06分09秒 UTC現在

毎日 18時15分00秒 UTC 増分バックアップ	毎火曜日、18時15分00秒 UTC 全体バックアップ	2017/09/11 18時15分00秒 UTC 最後に成功したバックアップ
268.2 MB 使用されているクラウド・ストレージ・ポ リューム:	268.2 MB 使用されているバックアップ・ボリューム:	1.3097 % 使用されているバックアップ・ボリューム の割合:

今すぐバックアップ バックアップの構成 Disable Backups

使用可能なバックアップ

2017/09/04 8:55 日付までの検索

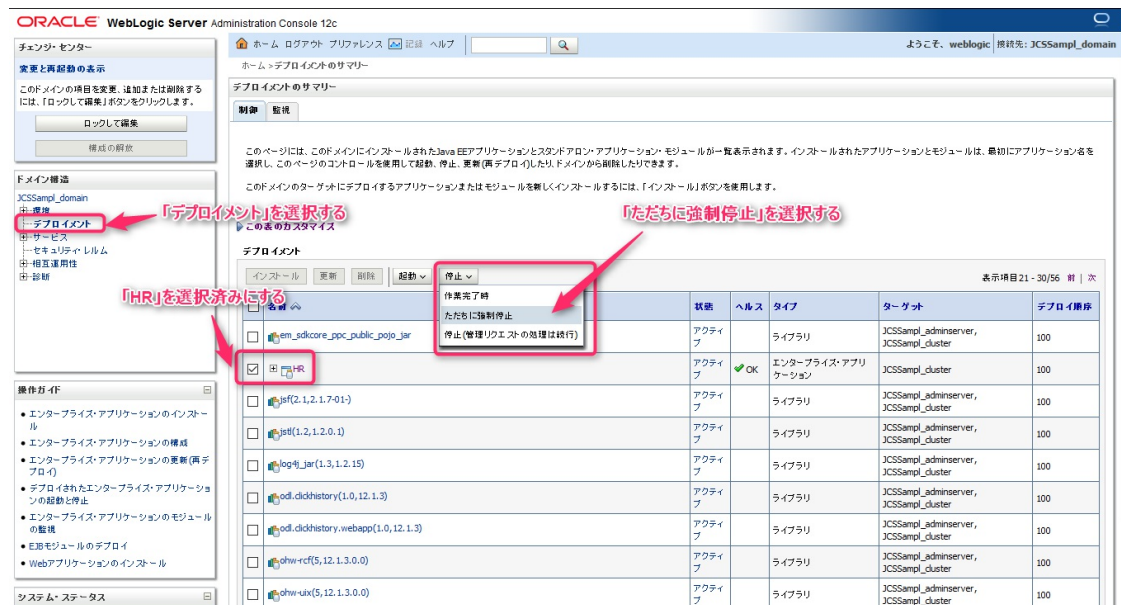
 <p>2017/09/11 9時06分09秒 UTC 型: すべて, shinya.yanagihara@oracle.com 使用可能期限: 2017/10/11 9時06分09秒 UTC</p>	<p>次を含む: </p> <p>注意:</p>	<p>バック アップ してい ます...</p>
 <p>2017/09/11 18時15分00秒 UTC 型: 変更分, scheduled 使用可能期限: 2017/10/11 18時15分00秒 UTC</p>	<p>次を含む: </p> <p>注意: 自動バックアップ</p>	<p></p>
 <p>2017/09/10 18時15分00秒 UTC</p>		

バックアップを取得しています。暫く(10分程度)待ちます。

### 3. リストア実施確認のための構成変更

バックアップ・データからリカバリを実施する際の確認のために構成情報に変更をいれます。

アプリケーションのデプロイメント手順確認の中でデプロイを行った **HR** アプリケーションを削除します。



「デプロイメント」を選択し、表示されるアプリケーション一覧の中から「HR」アプリケーションを選び、横にあるチェックボックスを選択済みとします。

そして、「停止」ボタンをクリックし、「ただちに強制停止」を選択します。



「はい」を選択します。

ORACLE WebLogic Server Administration Console 12c

ようこそ、weblogic | 接続先: JCSsaml\_domain

ホーム > デプロイメントのサマリー

デプロイメントのサマリー

制御 監視

このページには、このドメインにインストールされたJava EEアプリケーションとスタンドアロンアプリケーション・モジュールが一覧表示されます。インストールされたアプリケーションとモジュールは、最初にアプリケーション名を選択し、このページのコントロールを使用して起動、停止、更新(再デプロイ)したり、ドメインから削除したりできます。

このドメインのターゲットにデプロイするアプリケーションまたはモジュールを新しいインストールするには、「インストール」ボタンを使用します。

この表のオスタマイズ

デプロイメント

インストール 更新 削除 起動 停止

表示項目 21 - 30/56 前 | 次

名前	状態	ヘルス	タイプ	ターゲット	デプロイ順序
em_sdkcore_poc_public_pojo.jar	アクティブ		ライブラリ	JCSsaml_adminserver, JCSsaml_cluster	100
<input checked="" type="checkbox"/> HR	準備完了	OK	エンタープライズ・アプリケーション	JCSsaml_cluster	100
jsf(2.1.2.1.7-01-)	アクティブ		ライブラリ	JCSsaml_adminserver, JCSsaml_cluster	100
jsf(1.2.1.2.0.1)	アクティブ		ライブラリ	JCSsaml_adminserver, JCSsaml_cluster	100
log4j.jar(1.3.1.2.15)	アクティブ		ライブラリ	JCSsaml_adminserver, JCSsaml_cluster	100
odl.clickhistory(1.0.12.1.3)	アクティブ		ライブラリ	JCSsaml_adminserver, JCSsaml_cluster	100
odl.clickhistory.webapp(1.0.12.1.3)	アクティブ		ライブラリ	JCSsaml_adminserver, JCSsaml_cluster	100
ohw-rcf(5.12.1.3.0.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSsaml_adminserver, JCSsaml_cluster	100
ohw-ux(5.12.1.3.0.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSsaml_adminserver, JCSsaml_cluster	100

「ロックして編集」をクリックします。次に、「HR」を再度選択済みとして、「削除」ボタンをクリックします。

ORACLE WebLogic Server Administration Console 12c

ようこそ、weblogic | 接続先: JCSsaml\_domain

ホーム > デプロイメントのサマリー

アプリケーション削除アシスタント

☒ はい

デプロイメントの削除

次のデプロイメントを、このドメイン構成から削除します。続行するには「はい」、取り消すには「いいえ」をクリックします。

- HR

☐ はい ☐ いいえ

「はい」を選択します。

**Oracle WebLogic Server Administration Console 12c**

ようこそ、weblogic | 接続先: JCSampL\_domain

ホーム ログアウト プリファレンス 記録 ヘルプ

ホーム > デプロイメントのサマリー

メッセージ

- ✓ 選択したデプロイメントが削除されました。
- ✓ この処理 (およびその他の変更) をアクティブなシステムにコミットするには、保留中の変更をアクティブ化する必要があります。

デプロイメントのサマリー

制御 監視

このページには、このドメインにインストールされた Java EE アプリケーションとスタンドアロン アプリケーション モジュールが一覧表示されます。インストールされたアプリケーションとモジュールは、最初にアプリケーション名を選択し、このページのコントロールを使用して起動、停止、更新 (再デプロイ) したり、ドメインから削除したりできます。

このドメインのターゲットにデプロイするアプリケーションまたはモジュールを新しくインストールするには、「インストール」ボタンを使用します。

この表のオウズマイス

デプロイメント

インストール 更新 削除 起動 停止

表示項目 1 - 10/55 前 | 次

名前	状態	ヘルス	タイプ	ターゲット	デプロイ順序
adf.oracle.businesseditor(1.0,12.1.3.0.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSampL_adminserver, JCSampL_cluster	100
adf.oracle.domain(1.0,12.1.3.0.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSampL_adminserver, JCSampL_cluster	100
adf.oracle.domain.webapp(1.0,12.1.3.0.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSampL_adminserver, JCSampL_cluster	100
coherence-transaction-iar	アクティブ	OK	リソースアダプタ	JCSampL_adminserver, JCSampL_cluster	100
DMS Application (12.1.3.0.0)	アクティブ	OK	Webアプリケーション	JCSampL_adminserver, JCSampL_cluster	5
em	アクティブ	OK	エンタープライズアプリケーション	JCSampL_adminserver	400
emagentsdkimplpriv_jar(11.2.0.1.0,12.1.0.3.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSampL_adminserver, JCSampL_cluster	100

「変更のアクティブ化」をクリックします。

## Error 404--Not Found

From RFC 2068 *Hypertext Transfer Protocol -- HTTP/1.1*:

### 10.4.5 404 Not Found

The server has not found anything matching the Request-URI. No indication is given of whether the condition is temporary or permanent.

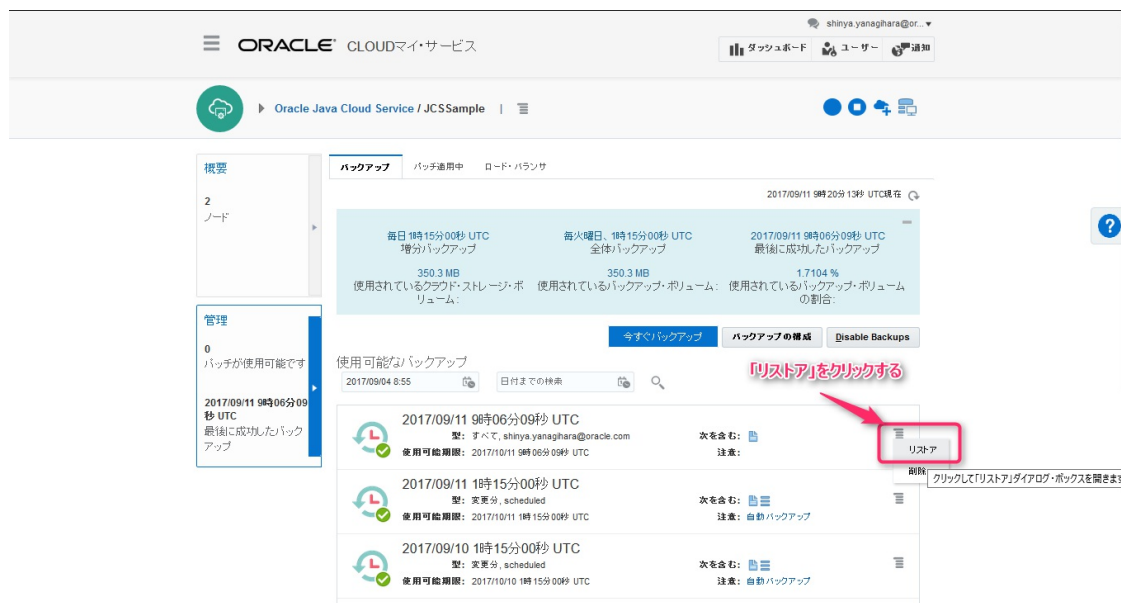
If the server does not wish to make this information available to the client, the status code 403 (Forbidden) can be used instead. The 410 (Gone) status code SHOULD be used if the server knows, through some internally configurable mechanism, that an old resource is permanently unavailable and has no forwarding address.

下記のURLでアプリケーションの動作確認を改めて実施します。

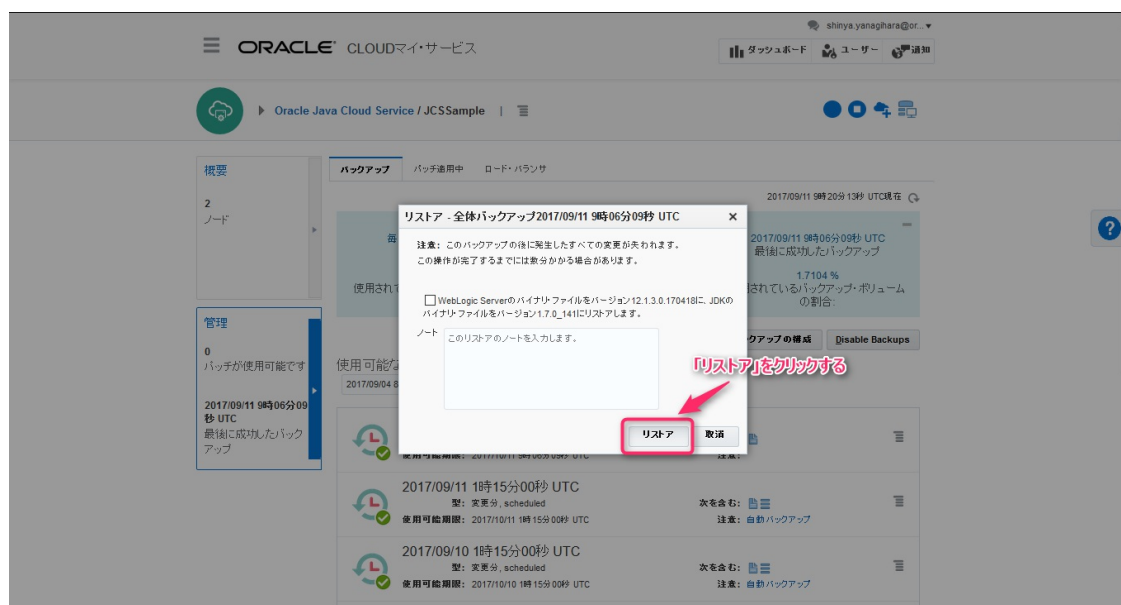
<https://<パブリック IP>/HR-ViewController-context-root/faces/hr.xhtml>

すると、404エラーが表示されてアプリケーションがなくなっている事が確認できます。

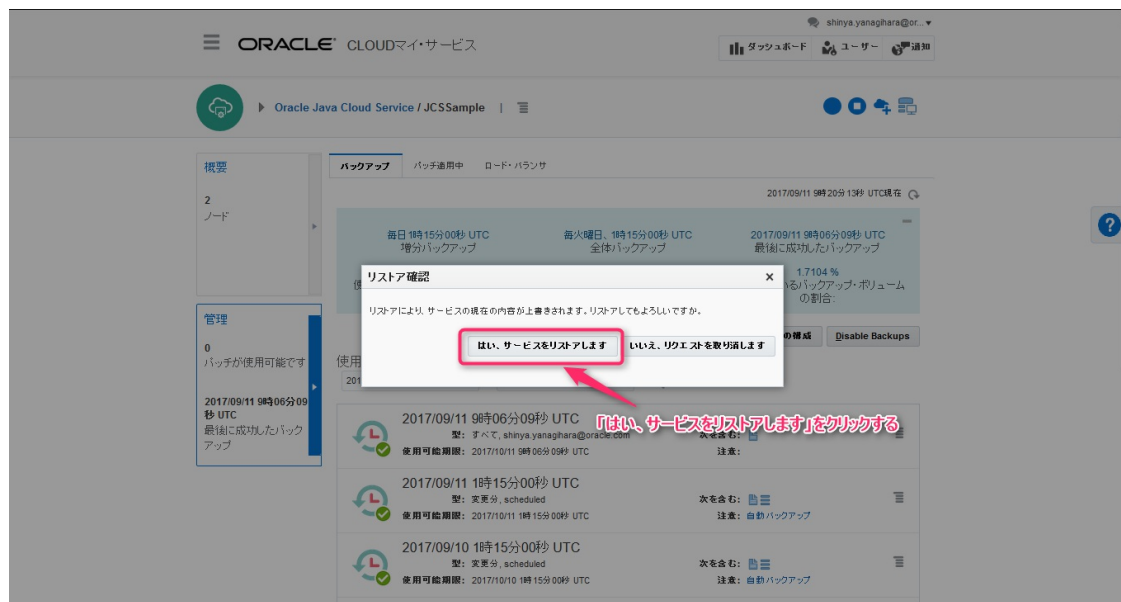
## 4. リストアの実施



手動で作成したバックアップ・データの右側にあるメニューをクリックし、「リストア」を選択します。



表示されるダイアログ・ボックスで「リストア」をクリックします。



リストア実施の確認で「はい」を選択します。

## 5. リストアの確認

### Departments

DepartmentName:  Search

Department Id	Department Name	Location Id
---------------	-----------------	-------------

### Employees

LastName:  Search

Employee Id	First Name	Last Name	Email	Phone Number	Hire Date	Job Id	Salary	Commission Pct
-------------	------------	-----------	-------	--------------	-----------	--------	--------	----------------

下記のURLでアプリケーションの動作確認を改めて実施します。

<https://<パブリック IP>/HR-ViewController-context-root/faces/hr.xhtml>

すると、HRアプリケーションが復旧し稼働している事が確認できます。